

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和3年度 相武台地区まちづくり会議 第3回全体会		
事務局 (担当課)	相武台まちづくりセンター 電話046-254-3755		
開催日時	令和3年10月19日(火) 午後3時から午後4時40分まで		
開催場所	相武台公民館 2階 大会議室		
出席者	委員	18人	
	その他	麻溝台・新磯野地区整備事務所2人	
	事務局	2人(相武台まちづくりセンター2人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 会議の傍聴について 傍聴希望者は無し 3 あいさつ 地区まちづくり会議会長 4 議題 (1) 麻溝台・新磯野地区整備推進事業の現状等について(麻溝台・新磯野地区整備事務所) (2) 各団体等の活動状況・PR事項等について (3) 地域内の状況について(困っていること・心配していること・実現したらいいこと(課題)等) (4) その他		

## 審 議 経 過

主な内容は、次のとおり。

### 議題

#### (1) 麻溝台・新磯野地区整備推進事業の現状等について

市麻溝台・新磯野地区整備事務所職員からの主な説明は次のとおり。

- ・本事業は、麻溝台・新磯野地区整備推進事業、約 148ha のうち、約 38ha を第一整備地区として先行して整備することとして、平成 26 年 9 月に事業計画を決定し、総事業費 127 億円、令和 6 年 3 月末までとして事業を始めた。
- ・平成 28 年に工事を着工し、地中障害物等の調査を開始したが、想定をはるかに超える量の地中障害物が発出したこと等により令和元年 6 月に事業の立ち止まりを判断し、翌年 1 月まで事業の検証を行った。
- ・検証結果として、当初の事業計画に地中障害物の処理費用が盛り込まれていないことや、地中障害物処理費が土地評価額を上回る事案が想定され、土地区画整理を行うことで土地がなくなってしまうようなケースは土地の価値の増進を図ることを目的とする土地区画整理法の趣旨に抵触する問題が明らかになった。
- ・同年には弁護士による第三者委員会が設置され、組織運営上の問題点の提起、改善策の提言がされたほか、地方自治法第 98 条に基づき、本事業に関する調査、再発防止に向けての調査研究を目的に特別委員会が設置された。
- ・また土地の評価の過程において、土地の係数等の操作が行われた経過も判明し、業務に携わった職員の処分も行われた。
- ・本年 3 月には、真相究明を目的に地方自治法第 100 条に基づく特別委員会が設置され、審議が継続している。
- ・本年度末までに事業の方向性をお示しすることとして、事業計画変更案の作成に取り組んでいる。

#### [主な意見・質疑等]

(高橋副会長) 地中から障害物が出てきた場合、土地の所有者がその除去費用を負担すると認識しているが、この事業では特別な契約内容・条項があったのか。

(市) この事業は市が土地を取得するのではなく、土地区画整理事業として、土地利用意向を集約することとして権利変換を図るものであり、道路事業のように市が土地を取得して整備するものではない。地中障害物の処理費を地権者が負担することについては、これまでの地権者組織等での議論を経て、地権者の合意を得ていたものである。なお、土地区画整理事業の事業費については、国の補助金、保留地の処分金を除いた

ものは施行者である市が負担するとしている。

(高橋副会長) 地中に障害物があるのは当初から分かっていたのか。

(市) あることについて確信していたわけではないが、事業化の検討にあたって、昭和の時代から地中障害物に関する話があり、平成の初期に、複数回障害物の調査をしていたのは事実である。地下に障害物がある場所があるのではないかとすることは調査結果を踏まえ想定していたが、当初想定していた以上の障害物の発出があったのが現状である。

(高橋副会長) 工事着工前のチェックが甘かったという認識でよいか。

(市) 庁内検証等においても、調査、準備の段階から詰めが甘かったという指摘があった。

(高橋副会長) 市の責任は重大だと思うがいかがか。

(市) 事業を進めるなかで把握した課題等を整理せずに進めたことや、市職員による土地評価係数の不正操作等があったことを深く反省し、そのようなことを繰り返さないよう適切な事業計画となるよう見直しを行っている。

(松嶋理事) この事業については大変期待していたところであり、問題が発覚した後も謝罪やその経過の詳細の説明等がなく、納得していない。できるだけ早期に調査結果を示して、我々地域の人たちが希望を持てる納得のいく丁寧な説明をするとともに、早期に工事を再開してもらいたい。

(市) この事業の近隣地区には当初事業着工前には事業概要を説明していた経過を承知しており、事業中断以降、地権者説明会を開催するなど、説明の機会を設けていたが、一昨年のまちづくり懇談会で地域の説明の要望をいただき、調整を進めていたところであったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、説明の機会が本日まで遅れたことはお詫びする。今年度末までに事業計画変更案の策定を進め、事業の方向性を判断することとしており、その後、地権者や市民の皆様への説明の機会を設けることを想定しており、その時点においては、周辺地域のまちづくり会議等の機会において、ご要望があれば説明させていただく。

(溝口委員) 3月末までに策定する事業計画変更案はどのような方向性を示すのか。また、計画案策定の際はまちづくり会議の意見も参考にしてほしい。

(市) 庁内検証や第三者委員会の調査などで明らかとなった事業の課題について整理し、事業費や事業期間など事業計画の見直しを行うものである。すでに事業に着手しており、直接、まちづくり会議の意見を反映することなどの想定はしていないが、地権者や市民の皆様には、御理解がいただけるよう、丁寧に説明をしていく。

(瀬尾会長) 現状は、廃墟ようになってしまい、ごみが多く散在しており、雑草が多く茂っているが、管理はどこで行うのか。

(市) 事業区域内の土地の約 60%は、施行者管理地として市が管理している。道路においては、道路管理者である土木事務所の所管となる。事業地内については、平日、

朝と夕パトロールを行い、不法投棄などを確認するなど維持管理を行っている。施行者管理地となっていない土地については、その土地の所有者が所有者の責任の下、ご自身で管理いただく。また、除草については、夏の前及び秋口の年2回、防犯・防火の観点からも作業を行っている。

(松嶋理事)本年度末までに検討する事業計画変更案は計画区域 148 ヘクタール全域ではなく、先行して取組を進めている「第一整備地区」のみが該当するのか。

(市) 現在、事業化しているのは第一整備地区のみである。

## (2) 各団体等の活動状況・PR事項等について

(瀬尾会長(自治連会長)) 11月14日に相武台地区創立50周年の記念式典、3月20日にそのイベントを行う。また、12月から2月の期間、相武台団地を主会場とした相武台ウィンターイルミネーションを自治連を主体とした実行委員会で実施する。

(高橋副会長(社協会長)) 通常活動になりつつあり、リモートから体面式の会議となる。今年度の敬老会は中止としたが、12月に社協として防災に対しどのような支援・対応ができるか「福祉講座」を行う予定である。

(砂村副会長(民児協会長)) 今年度3月に地域活性化事業交付金を活用した「子育てマップ」を作成し、小・中学校等に配架する予定である。

(奥野理事(自治連副会長)) 10月末に相武台団地の「団地祭」を展示のみで行う。今後、福利厚生部で「フォトサロン」として高齢者の方のおしゃれな姿をプロの写真家に撮ってもらい、展示する等のイベントを企画をしている。

(宮本副会長(公民館長)) 10月から貸館が再開した。マスク着用、三密を避ける、換気をする、定員数は半分にしてコロナ対策を行っている。公民館主催事業「ゆとり学級」、「こどもまつり」、「ちょっとだけ先生」等を今後実施していく予定である。

(松嶋理事(自治連副会長)) 今回のイルミネーションでは座間市の商店会とも連携して行うよう準備を進めている。また、町内会自治連でジャズフェスティバルや防災訓練等を実施する予定である。

(村松理事(自治連副会長)) グリーンパーク自治会では例年秋に「展示会」を行い、投票で賞を決定するイベントを行っているが、今年度は団地やイベント会場の配管工事を優先とするため2月に延期する計画とした。

(小林委員(安全・安心まちづくり推進協議会相武台支部)) 10月に相模大野で相模原南防犯協会による防犯キャンペーンを行い、参加した。

(永井委員(公民館運営協議会)) 公民館運営協議会ではコロナ感染対策の学習等を行った。また、令和元年から令和2年の間、コロナの影響で公民館の利用件数約4,400件→2,190件、利用者数4万6千人→1万7千人と半分以上減少している。

(畠山委員(緑台小PTA)) 令和4年度に緑台小は創立50周年を迎え、記念事業等を検討

している。また、PTAでは通学路の安全点検を実際に歩いて行っている。

児童の宿泊研修は実施し、10月の修学旅行は実施する予定である。

(関塚委員(相武台中PTA)) コロナ禍で保護者は学校内に入ることができず、また、学校行事も中止になっていることから学校とPTAの両者が十分なコミュニケーションが図れない状況となっているため、PTAのあり方についてどうすべきかと改めて考えている。

他地区のパトロールでは保護者が名札等を付けて夏祭りのイベント等に参加するという事例を聞いた。祭りでは子どもの見守りをするのができ、地域イベントの活性化にもつながるいい事例なので、皆様からもいろいろなご意見等を伺いたい。

(大西委員(相武台こどもセンター)) コロナ禍で行事等が縮小している状態が続いているが、週に3日開催している「子育て広場」では親子が楽しい時間を過ごしている。

(堀田委員(相武台第3児童館)) コロナ禍で行事が中止となり、利用者もコロナ禍前の1/2～1/3と減少している。小中学校の行事に参加できない状態が続いているので、子どもたちとの情報交換ができないこと等で悩んでいる。10月22日に学習支援事業として緑台小2年生へ「児童館紹介」を行う予定である。

(塚田委員(老人クラブ連合会)) 地区老人クラブ3団体では各家庭のゴミ出しの問題が出た。一人でゴミ出しをすることができない高齢者のゴミ出しをサポートするという案が出て、今後も話し合っていく予定である。

(溝口委員(商店会)) 相武台団地商店会のハワイアンフェスタは中止となった。12月の相武台ウィンターイルミネーションでは他の団体と連携して、盛り上げていきたい。

(神藤委員(相模原看護専門学校)) 10月3日の学校祭「白優祭」は中止となった。10月30・31日に推薦・社会人入学試験及び1月6・7日に一般入学試験を行う。

(山口委員(消防団)) コロナ禍においても月2回点検整備及びパトロールを行っている。11月7日に町内会・グリーンパーク自治連と防災訓練を行う。新春の「市消防出初式」の実施有無は未定である。

(三畑委員(経験有識者)) 3月末に「第12回相武台芸術祭」の実施に向け準備を進めている。

(3) 地域内の状況について(困っていること・心配していること・実現したらいいこと(課題)等)

(瀬尾会長) パトロールについては地域としても大変関心が高いので、関塚委員にはPTAのパトロールの実施方法等を次回のまちづくり会議で発表いただきたい。

(松嶋理事) 地区安全安心推進協議会の会議でパトロールの方法を見直そうという考えがあるので、PTAからの提案等もいただきたい。

(小林委員) 地区安全安心推進協議会に委員は多くいるので、PTAと推進協議会のパト

ロール方法は異なったとしても一体化して行えると効果的なので、ぜひ連携して実施できることを望みます。

(瀬尾会長)塚田委員から発言のあった高齢者等で自力でゴミ出しができない件は地域ケア会議でも取上げられている課題である。今後のまちづくり会議の協議で解決できることも考えられるので、今後とも情報提供等をお願いしたい。

本日は時間が差し迫っているため充分協議ができなかったため、次回1月のまちづくり会議で地域内の課題について引き続き協議したい。協議したい事項がある方はまちづくりセンターへ伝えていただきたい。

(4) その他

特になし

以 上

相武台地区まちづくり会議 出欠席名簿（10月19日）

	役 職	氏 名	所属等	出欠席
1	会 長	瀬尾 守一	相武台地区自治会連合会	出席
2	副会長	高橋 孝雄	相武台地区社会福祉協議会	出席
3	副会長	砂村 久三子	相武台地区民生委員児童委員協議会	出席
4	副会長	宮本 憲雄	相武台公民館	出席
5	理 事	奥野 智	相武台地区自治会連合会	出席
6	理 事	松嶋 保和	相武台地区自治会連合会	出席
7	理 事	村松 幸子	相武台地区自治会連合会	出席
8	委 員	小林 勉	相模原市南区安全・安心まちづくり推進協議会 相武台支部	出席
9	委 員	荻原 正人	相武台地区青少年育成協議会	欠席
10	委 員	永井 保子	相武台公民館運営協議会	出席
11	委 員	川嶌 梨乃	相模原市青少年指導委員連絡協議会 相武台地区協議会	欠席
12	委 員	岡本 英夫	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会 相武台地区協議会	欠席
13	委 員	畠山 奈々絵	小学校 P T A	出席
14	委 員	関塚 孝枝	中学校 P T A	出席
15	委 員	大西 輝佳	相武台こどもセンター	出席
16	委 員	堀田 典子	相模原市立相武台第3児童館	出席
17	委 員	塚田 幸恵	相武台地区老人クラブ連合会	出席
18	委 員	川崎 知恵子	相武台地域包括支援センター	欠席
19	委 員	溝口 興二	商店街	出席
20	委 員	神藤 次郎	相模原看護専門学校	出席
21	委 員	山口 恒	相模原市消防団南方面隊第2分団	出席
22	委 員	三畑 武一	経験有識者	出席